

人、そして地域がつながり輝き続ける 潤いのまち

コミュニティ・スクール

地域とともにある学校をめざして

急速な少子高齢化、人口減少、情報化、グローバル化など、変化が激しく、常に新たな課題と向き合い、試行錯誤しながらも対応することが求められる複雑で難しい時代を迎えています。

これからの学校においては、変化の激しい社会にしっかり目を向け、輝く子どもたちの未来のために、保護者、地域、学校が一体となり、「地域総がかり」での教育を支えることが不可欠となります。

そこで、白鷹町では、未来を担う子どもの豊かな成長を「地域総がかり」で支える仕組みであるコミュニティ・スクールを導入し、「地域とともにある学校」づくりに取り組みます。

コミュニティ・スクールのイメージ

コミュニティ・スクールでは、「学校運営協議会」を設置し、学校と地域住民等が学校運営の基本方針を共有し、学校運営や子どもに必要な支援について、肯定的、建設的な未来志向の話し合いを行います。



地域とともにある学校の姿

共有	つながる	支える
「学校運営の基本方針」を共有している学校	「社会に開かれた教育課程」を実現している学校	「地域総がかり」で子どもの成長を支える体制
どのような資質や能力を育てていくべきか、どんな姿の子どもを育てたいかなど、肯定的で未来志向の話し合いを行います。	どのように育てていくのかという学習内容を組織的・計画的に地域とつなぐ学校の教育課程を練り上げます。また、子どもの姿で振り返り、更新改善を図ります。	未来の担い手を一体となって育てるという理念を共有し、子どもの豊かな成長のために、主体的に取り組みます。

人、そして地域がつながり輝き続ける 潤いのまち



コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の仕組み

学校運営協議会

《保護者、地域の方々、校長など》最大10名
主な役割〔地教行法第47条の5〕

- ・校長が作成する学校運営の基本方針を共有する。
- ・学校運営について、意見を出し合う。
- ・課題解決や目標達成のために必要な学校運営体制について、意見をまとめ、教育委員会に報告できる。

学校運営に必要な支援や課題解決に関して、共に知恵をしぼる



校長

学校運営
基本方針

教育活動



説明

意見



意見

協議の結果を
情報共有



代表の参画

支援



教育委員会

- ・委員の任命
- ・運営への助言

保護者・地域



理解・支援

地域が参加する学校運営

地域全体が学習環境になる

授業を
頑張り

見る

目標に向けて
課題に向けて

考える

地域で
地域と

地域が学ぶ



コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の魅力とは？

- ・体験活動の充実
- ・認められる場が増え、思いやりが育つ
- ・地域を身近に感じ、担い手の自覚へ
- ・防犯対策により、安全・安心を実感

子どもにとって

- ・地域の理解と協力を得た学校運営
- ・人材に支えられた教育活動
- ・地域の協力により子供と向き合う時間の確保
- ・情報共有の効率化による会議の精選

学校にとって

保護者にとって

- ・学校や地域に対する理解が深まる
- ・地域で育てる安心感
- ・保護者同士や地域の人々とのコミュニティの構築

地域にとって

- ・学校を中心とした地域ネットワークの形成
- ・経験を生かすことができる場
- ・地域の防犯・防災体制の構築

